

令和三年 荒井神社 夏祭

輪ぬけ祭 六月二十八日 二十九日

時節柄、行事の内容が変更になる場合がございます。
最新情報は荒井神社ホームページにてお知らせいたします。

湯立って神事

○「湯立って神事」は、二十八日午後8時から斎行します。

※荒天の場合は、翌日二十九日に延期いたします。

○「雛形（人形）」は、六月十五日から神社にて無料授与いたします。

○「奉納あんどん」は両日とも午後4時頃から9時頃まで。

※雨天の場合は展示いたしません。

○「夏祭限定御朱印」を授与いたします。

※詳細はホームページで必ずご確認の上、ご参拝下さい。

○当日はお車でのご参拝はお控え下さい。なお、自転車は道路にとめないで下さい。

新型コロナウイルス感染症対策のため以下の事項をお守り下さい。

- ①必ずマスクを着用して下さい。
- ②境内での飲食・喫煙はお控え下さい。
- ③人と人との距離を空けて下さい。
- ④大声での会話はご遠慮下さい。



【輪ぬけ祭】

輪ぬけ祭は、六月の大祓、夏越の大祓と言って、人が知らず知らずおかした罪（ツミ）や身についた穢れ（ケガレ）をお祓いする、古くから我が国で行われている神事です。
雛形（人形）にツミ・ケガレを託し、真菰で作った輪を左右左と三回通りぬけて、夏の悪病退散をご祈願下さい。

【湯立て神事】

湯立て神事は、熱湯に笹をひたし、湯のしずくを全身にあびて心身を祓い清める神事です。江戸時代の地誌『播磨鑑』に当社の湯立て神事が記載されており、古くより盛んに行われておりました。

また、湯立てに神事に用いた小笹は、夏の間、家の玄関先や門口につるしておけば疫病・魔よけとなりますので、ご希望の方には神事後に授与いたします。



夏祭限定 御朱印

※授与日時などの詳細はホームページで必ずご確認ください。



【奉納あんどん】

著名人や地元有志による「奉納あんどん」が参道に飾られます。
※雨天の場合は展示いたしません。



【雛形について】

雛形（人形）は、形代ともよばれ、私たちの身代わりとなるお祓いの神具です。以下の手順にて、ツミ・ケガレを雛形に託し、お祓いをお受け下さい。

なお、雛形はお一人一枚を、6月15～30日の期間中、神社にて無料で授与いたします。

※授与時間は午前9時から午後5時の間になりますが、28・29日に限り午後9時までの授与といたします。

※ご家族やご親族の分も授与しますので枚数をお伝え下さい。

お祓いの受け方

- ① 雛形に氏名・年齢を書く。
- ② 雛形で自分の身体を静かになでる。
- ③ 雛形にツミ・ケガレを遷すように念じながら3回息を吹きかける。
- ④ 輪をくぐり、拝殿正面の筒の中に納めた後、神前に参拝する。

雛形(人形)

